

静岡大学 公開講座 2021



静岡大学

公開講座

静岡大学では、本学の専門的、総合的な教育・研究機能を開放することによって、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978（昭和53）年より実施しています。

静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大学の特徴を生かし、県内各地で開催します。

CONTENTS

受講にあたって	3
公開講座開設一覧	4
講座案内	
教養を高める	6
科学・自然に親しむ	15
身体を動かす	20
その他の大学開放事業	23
主要会場へのアクセス	31

1 受講対象者

原則として、どなたでも受講できます。ただし、講座により受講対象を限定している場合がありますので、各講座の「対象」の欄をご覧ください。

2 実施会場

会場は、講座によって異なります。各講座の「会場」の欄をご覧ください。なお、主要会場への交通案内については、31～35ページをご参照ください。

3 申込方法

各講座の「申込方法」の欄をご確認ください。お申込後、受講料の納入方法や会場など、詳細について連絡を差し上げます。なお、それぞれの講座は一部を除き先着順となりますので、定員に達した場合にはお断りすることもあります。予めご了承ください。

4 修了証書の授与

修了された方には静岡大学より修了証書を発行します。

5 お問い合わせについて

講座内容や、その他受講に関するお問い合わせは、各講座の「問合せ」欄に記載されている連絡先をお願いいたします。


種別	講座名	日程	会場	ページ
教養を高める	日本人の知らない世界 [全14回]	4/17・24 5/15・29、 6/26、 7/10、 9/18・25、 10/2・16・30、 11/20、12/4 (いずれも土曜日)	静岡キャンパス 【対面・オンライン 併用開催】	6
	山のリスクとそのマネ ジメント	5/ 8 (土)	オンライン開催 (Zoomミーティ ング使用)	8
	子どもの「やってみ たい!」を支えるために: 遊びの中のリスクマネ ジメント	6/9 (水)	教育学部附属 幼稚園園庭 (雨天時:遊戯室)	9
	静岡の自然と文化 ～富士山・県東部を中 心に～	6/19 (土)	プラサヴェルデ (沼津市)	10
	市民社会と法～子ども をめぐる社会の変容と 法制的動向～ [全5回]	10/9、11/6、 12/4、1/8、 2/5 (いずれも土曜日)	静岡市葵生涯学 習センター(アイ セル21)	11
	これからの教育と情報 : オンライン授業と学 習のありかた	11/6 (土)	浜松キャンパス	12
	第3回 邦人作品の調べ	2022年 3/12 (土)	静岡市葵生涯学 習センター(アイ セル21)	14

種別	講座名	日程	会場	ページ
科学・自然に親しむ	作って学ぶ、工学部の化学実験	7/31(土)、 8/1(日)	浜松キャンパス	15
	愛おしさから読み解く くだものの多様性 ～園芸と民藝の融合～ [全3回]	8/20(金)、 9/25(土)、 12/3(金)	藤枝市産学官連携推進センター、 伊豆・松崎・であい村蔵ら、 健康文化交流館「来・て・こ」	16
	体験!大学の化学実験 [全2回]	8/21(土)・22(日)	静岡キャンパス	18
	静岡大学キャンパス ミュージアム公開講座 2021 [全5回]	10/9・16・23・ 30、11/6 (いずれも土曜日)	静岡キャンパス	19
身体を動かす	安心登山のための読図 とナビゲーション (スマホ利用編)	5/15(土)	静岡キャンパス (教育学部) および屋外	20
	安心登山のための読図 とナビゲーション (中級編)	2022年 3/19(土)	静岡近郊の里山	21

日本人の知らない世界


The World Japan Doesn't Know

講座内容	<p>グローバル化が進んでいる現在、静岡空港の海外への増便につれ、静岡にいながら外国の人に出会う、或いは静岡の人が海外へ出かける機会が多くなっています。外国の方を迎えたり或いは外国に行ったりする際、多方面からの知識が必要とされています。本講座は世界中の地域や国の言語、芸術、文学、文化などについて学びます。それぞれの専門領域からの講義を通して、日本と世界の関係に触れ、また知識を深めることができます。(https://www.facebook.com/JingdaZhongguoJiangzuo/)</p>
日 程	<p>4月17・24日、5月15・29日、6月26日、7月10日、9月18・25日、10月2・16・30日、11月20日、12月4日 (すべて土) [全14回] 14:00~16:00 (4/17は13:00~16:00 (13:00~13:50、14:00~16:00)、5/29は13:00~15:00)</p>
講 師	<p>人文社会科学部教授 張 盛開 (中国語言語学) 人文社会科学部教授 埋田重夫 (中国言語文化) 国際連携推進機構特任准教授 比留間洋一 (文化人類学) 人文社会科学部教授 南 富鎮 (日、中、韓比較文学) 人文社会科学部教授 勝山幸人 (日本語学) 静岡大学名誉教授 田村充正 (比較文学・比較文化) 人文社会科学部教授 熊谷滋子 (言語学) 人文社会科学部教授 小二田誠二 (日本言語文化) 人文社会科学部教授 堀 博文 (言語学) 学長補佐室特任教授 ダリウス・グレニジ (地球科学・比較文化) 人文社会科学部教授 鈴木実佳 (英文学・文化) 人文社会科学部教授 安永 愛 (フランス文学)</p>

プログラム	<p>4/17 「静大世界講座入門」(張)</p> <p>4/17 「抒情の構造」(埋田)</p> <p>4/24 「日本のベトナム人介護士：留学生編」(比留間)</p> <p>5/15 「朝鮮神話」(南)</p> <p>5/29 「古代日本語の発掘」(勝山)</p> <p>6/26 「ロシア語・ロシア詩の話 第二部」(田村)</p> <p>7/10 「「おら 東京さ行くだ」は東北弁?」(熊谷)</p> <p>9/18 「浮世絵の読み方」(小二田)</p> <p>9/25 「ハイダ族(カナダ先住民)：ワタリガラスとワシの世界」(堀)</p> <p>10/2 「自伝が歴史の証人：いつの世にも、人生の貴重な参考書」(グレニジ)</p> <p>10/16 「多言語朗読会の視聴」(張)</p> <p>10/30 「イギリスの料理(!) 本の話」(鈴木)</p> <p>11/20 「パリ文学散歩」(安永)</p> <p>12/4 「中国の地方口承文化」(張)</p>
開催方法	対面開催とオンライン開催 (Zoomミーティング)
会場 ※対面の 場合	<p>静岡大学静岡キャンパス 人文社会科学部B棟 301教室 (10/16のみ静岡大学静岡キャンパス学生会館)</p> <p>※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。</p>
受講料	無料
定員	50人(対面開催)、30人(オンライン開催)
対象	一般市民
申込方法	<p>メール・葉書・QRコードのいずれかによりお申し込みください(先着順)。</p> <p>✉ zhang.shengkai@cii.shizuoka.ac.jp</p> <p>✉ 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部総務係宛</p> <p>※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。</p> <p>※オンラインの申込者には開催日前に視聴情報を案内します。</p> 
申込期間	4月9日(金)まで
問合せ	<p>静岡大学人文社会科学部 張 盛開研究室</p> <p>☎ (FAX兼用) 054-238-4513</p> <p>✉ zhang.shengkai@cii.shizuoka.ac.jp</p>
後援	静岡県教育委員会

山のリスクとそのマネジメント

Risk and risk management for mountaineering

講座内容	<p>登山人口は国民の8～10%に登る国民的レジャーですが、その魅力と裏腹にリスクも小さくありません。山にはどんなリスクがあり、そのリスクにどう向き合えばよいのか。本講座では、国立登山研修所でリスクマネジメントの講師も務める本学の専門家が、その疑問に答えます。リスクを楽しむだけでなく、山の魅力とバランスをとりながらリスクに対応し、リスクマネジメントも山の楽しみとなるような発想を提唱します。事前にpdf配信した資料を使いながら、実践的にリスクとリスクマネジメントの方法を学びます。</p>
日 程	5月8日(土) 14:00～16:00
講 師	教育学部教授 村越 真(リスクマネジメント・野外活動)
開催方法	オンライン開催(Zoomミーティング)
受講料	無料
定 員	90人
対 象	Zoomミーティングに参加可能な方
申込方法	<p>下記専用ウェブフォームにてお申し込みください(先着順)。 ウェブ https://www.m-nop.com/seminar/20210508entry ※右記QRコードからもお申し込みいただけます。 ※視聴情報は申込者に通知します。</p> 
申込期間	4月1日(木)～4月28日(水)まで
問 合 せ	<p>静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422 メール kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp</p>
共 催	特定非営利活動法人M-nop
後 援	静岡県教育委員会

子どもの「やってみたい!」を支えるために： 遊びの中のリスクマネジメント

Support children to take challenge:
Risk management for children's play

講座内容	子どもには豊かな経験をさせたいが、ケガも心配。豊かな体験と事故防止を両立するにはどうしたらいいのでしょうか?この講座は満2～4歳のお子さんと一緒に参加できます。お子さんが園庭で遊ぶ様子の映像を見ながら、リスクに対するご自身の気づきや「やってみたい」を支えながら事故を防ぐ見守りの方法を実践的に学びます。また、ベテラン保育者の現場の知恵をご紹介します。大人向けの講座の間は預かり保育(満2～4歳)もあります。
日 程	6月9日(水) 9:30～11:30
講 師	教育学部附属幼稚園副園長 柴田知江(幼児保育) 他 教育学部教授 村越 真(リスクマネジメント)
開催方法	対面開催
会 場	静岡大学附属幼稚園園庭(雨天時:遊戯室) (静岡市葵区大岩町1番10号)
受講料	無料
定 員	20人
対 象	小学校就学前の子どもの保護者(満2～4歳のお子様の同伴可)
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="text" value="FAX"/> 054-237-6347 <input type="text" value="メール"/> kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="text" value="葉書"/> 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、メールアドレス(あれば)、年齢、講座名、預かり保育(満2～4歳)の希望の有無、お子様同伴の場合は、お子様の氏名(ふりがな)、年齢を明記してください。
申込期間	4月1日(木)～5月21日(金)
問 合 せ	静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422 <input type="text" value="メール"/> kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp
後 援	静岡県教育委員会

<p style="text-align: center;">静岡の自然と文化 ～富士山・県東部を中心に～ Exploring Shizuoka's Nature and Culture: Focusing on Mt. Fuji and the eastern Shizuoka prefecture</p>	
講座内容	静岡県東部は、世界文化遺産・富士山や伊豆半島ユネスコ世界ジオパークに代表されるように、独特の自然・文化を有する地域です。自然は一般に恵みと災害という相反する二つの顔もち、静岡では特にそれが顕著ですが、両者とうまく付き合うことで静岡独自の地域づくりが実現できます。本講座では、自然の恩恵と脅威と付き合う方法を探るとともに、地域を活性化する方途を考えます。
日 程	6月19日(土) 13:00～16:15
講 師	富士山世界遺産センター教授 小林 淳(火山学、火山地質学) 人文社会科学部・地域創造学環教授 小二田誠二(日本語文化)
プログラム	13:00～14:30 「世界文化遺産を作り上げた“荒ぶる山” 富士山の噴火」(小林) 14:45～16:15 「眺める富士山―景観と表現―」(小二田)
開催方法	対面開催 ※状況によりオンライン開催に変更する場合があります。
会 場	プラサヴェルデ(ふじのくに千本松フォーラム) 4階407会議室 ※会場までの地図は、P34の交通案内をご覧ください。
受講料	無料
定 員	80人
対 象	一般市民
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (FAX) 054-238-4295 (メール) kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学地域創造教育センター 地域人材育成・プロジェクト部門宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込期間	4月26日(月)～5月26日(水) ※定員になり次第締め切ります
問 合 せ	静岡大学地域創造教育センター 地域人材育成・プロジェクト部門 ☎054-238-4817(平日9:30～16:00)
後 援	静岡県教育委員会、沼津市教育委員会(予定)

市民社会と法 ～子どもをめぐる社会の変容と法制の動向～ Civil Society and Law : The changing conditions about children and the recent trends of the law	
講座内容	静岡大学サステナビリティセンター法実務部門(旧・地域法実務実践センター) 教員による公開講座「市民社会と法」、5年目の今年は<子どもと法>という共通テーマで、国際法、刑事法、民事実務の専門家がレクチャーします。 家族のあり方、親子関係のあり方や価値観が多様化してきた今、子どもをめぐる法状況はどうなっているのか、そして、どう変わろうとしているのかについて学び、ともに考え、語り合しましょう。
日 程	10月9日(土)、11月6日(土)、12月4日(土)、1月8日(土)、2月5日(土) [全5回] 13:30～15:30
講 師	サステナビリティセンター 法実務部門教授 板倉美奈子(国際公法・国際人権法) サステナビリティセンター 法実務部門教授 正木祐史(刑事法・少年法) サステナビリティセンター 法実務部門客員教授 上原裕之(民事法・民事実務)
プログラム	10/9 「子どもの権利をめぐる国内外の展開・動向」(板倉) 11/6 「犯罪現象と子ども—少年非行の動向」(正木) 12/4 「犯罪現象と子ども—少年非行対策」(正木・板倉) 1/8 「民事実務における子ども—現代家族と家事調停」(上原) 2/5 「民事実務における子ども—家庭の中の子ども」(上原・板倉)
開催方法	対面開催 ※状況によりオンライン開催に変更する場合があります。
会 場	静岡市葵生涯学習センター(アイセル21) 第31集会室 ※会場までの地図は、P34の交通案内をご覧ください。
受講料	無料
定 員	30人
対 象	一般市民
申込方法	電話によりお申し込みください(先着順)。 静岡市葵生涯学習センター(アイセル21) 宛 ☎054-246-6191(第2・第4月曜を除く) ※氏名、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名をご連絡ください。 ※オンライン開催に変更する場合は、申込開始日までに下記静岡大学Webサイトにてお知らせします。 https://www.lc.shizuoka.ac.jp/index.html
申込期間	9月1日(水)～9月24日(金) 10:00から電話受付開始
問 合 せ	静岡市葵生涯学習センター ☎054-246-6191
共 催	静岡市葵生涯学習センター
後 援	静岡県教育委員会

これからの教育と情報： オンライン授業と学習のありかた

Education and Informatics in the Future:
Online Courses and Learnings

講座内容	情報学部は、人間・環境・情報技術が調和する「情報社会」を目指し、2016年度から3学科（情報科学科、行動情報学科、情報社会学科）体制で教育・研究をおこなっています。本公開講座では、コロナ禍で大きく変わった状況を踏まえ、学習環境と今後の教育の在り方を、各学科の教員がそれぞれの立場からお話し、議論します。「テクノフェスタin 浜松」、「情報学部保護者懇談会」に合わせて開催いたしますので、奮ってご参加ください。
日 程	11月6日(土) 10:35~12:00
講 師	<p>情報学部教授 宮崎佳典 (e-Learning、数学&英語教育用Webアプリケーション開発、数値解析)</p> <p>情報学部教授 大島律子 (協調学習支援、協調学習の評価手法開発)</p> <p>情報学部講師 大瀧綾乃 (第二言語習得・外国語教授法)</p> <p>情報学部准教授 狩野芳伸 (自然言語処理)</p>
プログラム	<p>10:35~10:50 「Withコロナ時代のオンライン授業…情報科学科の事例」(宮崎)</p> <p>10:55~11:10 「コラボレーションと学習の調整：可能性と課題」(大島)</p> <p>11:15~11:30 「英語コミュニケーション能力を伸ばすオンライン授業：情報学部 英語科目の事例」(大瀧)</p> <p>11:30~12:00 「これからの教育と情報：オンライン授業と学習のありかた」(狩野)</p>
開催方法	対面開催
会 場	浜松キャンパス共通講義棟共21教室 ※会場までの地図は、P33の交通案内をご覧ください。

受講料	無料
定員	70人
対象	興味のある方ならどなたでも
申込方法	メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 ✉ chiiki-megumi@ml.inf.shizuoka.ac.jp 📄 〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部 地域連携推進室宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、年齢、職業を明記してください。
申込期間	10月1日(金)～10月31日(日)
問合せ	静岡大学情報学部 地域連携推進室 ☎053-478-1579
後援	静岡県教育委員会

第3回 邦人作品の調べ

Tune of Japanese works

講座内容	小学校・中学校の音楽では、《赤とんぼ》や《浜辺の歌》など、日本の自然や四季の美しさを味わうために歌唱教材が指定されています。この他にも、日本人作曲家たちが書いたものの中には情緒溢れる作品がたくさんあります。本シリーズでは、教科書には載っていない日本人作曲家の歌曲、器楽曲を中心に時系列でご紹介してきました。第3回となる今回は、ピアノや歌、箏の他に、管楽器作品（サクソフォン）に焦点を当てて、演奏しながらご紹介します。	
日 程	2022年3月12日（土） 14:00～16:00	
講 師	教育学部講師 教育学部教授	服部慶子（ピアノ・音楽教育） 長谷川 慎（日本音楽・音楽教育） 他
テ ー マ	邦人作品を聴こう	
開催方法	対面開催	
会 場	静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）ホール ※会場までの地図は、P34の交通案内をご覧ください。	
受講料	無料	
定 員	100人	
対 象	一般市民・生徒・教員	
申込方法	電話によりお申し込みください（先着順）。 静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）宛 TEL 054-246-6191（第2・4月曜を除く） ※氏名、電話番号、受講したい講座名をご連絡ください。	
申込期間	1月17日（月）～ 3月6日（日） 10:00から電話受付開始	
問 合 せ	静岡市葵生涯学習センター ☎054-246-6191	
共 催	静岡市葵生涯学習センター	
後 援	静岡県教育委員会	

作って学ぶ、工学部の化学実験

Experience of synthesis experiment at faculty of engineering

講座内容	地域で学ぶ中高生を対象に、現在学んでいる理科の内容が大学での学習内容にどのようにつながっているのかを理解できる場を設けます。本講座では工学部2年生が受講する化学実験の「色素の合成」を通して、実験での学びを経験することにより、自身の学ぶ理科の重要性を理解することを目的とします。
日 程	7月31日(土)、8月1日(日) 10:00~13:00 ※両日とも内容は同じ
講 師	工学部教授 植田一正(有機化学) 技術部技術専門職員 草薙弘樹(有機化学) 技術部技術職員 早川敏弘(有機化学)
テ ー マ	色素の合成と染色
開催方法	対面開催
会 場	静岡大学浜松キャンパス 工学部8号館 化学第2実験室 ※会場までの地図は、P33の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	各回20人
対 象	中学生・高校生(保護者同伴可)
申込方法	メールによりお申し込みください。 静岡大学工学部共通講座化学分野 植田一正宛 (メール) ueda.kazumasa@shizuoka.ac.jp ※希望日、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、学校名、学年、講座名を明記してください。
申込期間	6月24日(木) ~ 7月9日(金)
問 合 せ	静岡大学工学部共通講座化学分野 植田一正 (メール) ueda.kazumasa@shizuoka.ac.jp
後 援	静岡県教育委員会

愛おしさから読み解くくだもの多様性 ～園芸と民藝の融合～

Appreciate a diversity of fruit culture with your sense of intimacy: A fusion of Engei and Mingei

講座内容	我々が普段小売店で購入できるくだものは、膨大な種類の品種の中のごく一部。流通市場の中で大量に生産される今はやりのメジャー品種のみにすぎません。くだもの多様性を楽しみ、味わうためにはまずは消費者に多くの種類の中から自分のお気に入りを探してもらい、それを「欲しい!」という要求を伝えてもらわなければなりません。民藝の品に我々がひかれるのは、それを使用することによりものと一体となり、「愛おしい」と思う気持ちが生ずるからだと思います。くだものが民藝品のように人々の生活に寄り添う特別なものになってほしいという思いを携え、5年目となった本講座を今年も続けていきます。本年は、昨年好評だった茶歌舞伎にヒントを得たリンゴの食べ比べ大会(静岡市)、地元梨ブランド「藤里梨」の講座に加え、新たに松崎町で青パパイヤの講座を開催し、さらにたくさんの皆さんにくだもの世界の奥深さを知っていただこうと思います。
日 程	8月20日(金)、9月25日(土)、12月3日(金) [全3回] 14:00~16:30
講 師	農学部准教授 松本和浩(園芸学)
プログラム	①8/20 「志太梨から見る梨の多様性の面白さ」 ②9/25 「静岡独自の方法でパパイヤを一年草として育てよう!」 ③12/3 「リンゴ歌舞伎で味の多様性を確かめよう!」
開催方法	対面開催
会 場	①藤枝市産学官連携推進センターB i V i 藤枝1階 (藤枝市前島1丁目7番10号) ②伊豆・松崎・であい村 蔵ら(賀茂郡松崎町松崎319-1) ③健康文化交流館「来・て・こ」302活動室 ※③の会場までの地図は、P35の交通案内をご覧ください。
受講料	無料

定 員	①50人、②20人、③20人
対 象	くだものの歴史、品種、味等の多様性またはそれらを活かした地域活性化に興味がある消費者、生産者
申込方法	<p>各回ごとに申し込みが必要です。 講座ごとに申込先が異なりますのでご注意ください。 いずれも電話によりお申し込みください(先着順)。</p> <p>①藤枝市産業振興部農林課農業振興係宛 TEL 054-643-3266 (土日祝日を除く9:00~17:00)</p> <p>②伊豆・松崎・であい村 蔵ら宛 TEL 0558-42-0100 (10:00~16:00)</p> <p>③健康文化交流館「来・て・こ」宛 TEL 054-202-4300 (日曜を除く9:00~21:30)</p> <p>※氏名、住所(市町村まで)、電話番号、受講理由をお知らせください。</p>
申込期間	<p>①6月4日(金) ~ ②7月2日(金) ~ ③10月8日(金) ~ 各回10:00から電話受付開始</p>
問 合 せ	<p>①藤枝市産業振興部農林課農業振興係 ☎054-643-3266 ②伊豆・松崎・であい村 蔵ら ☎0558-42-0100 ③健康文化交流館「来・て・こ」 ☎054-202-4300</p>
共 催	藤枝市(8/20)、松崎町、南伊豆町(9/25)、健康文化交流館「来・て・こ」(12/3)
後 援	静岡県教育委員会

<h2 style="margin: 0;">体験!大学の化学実験</h2> <p style="margin: 0;">Let's Try Chemical Experiment for University Curriculum</p>	
講座内容	大学の専門実験実習で行われている化学実験を体験頂くことができます。「水の分析」実験では水溶液中のカルシウムとマグネシウムの定量実験を行います。「ルミノールの合成と発光実験」では推理小説やドラマでおなじみのルミノールを合成し、合成したルミノールを用いた化学発光の実験を行います。どちらか1日だけの参加も可能です。
日 程	8月21日(土)、22日(日) [全2回] 10:00~16:00
講 師	グリーン科学技術研究所教授 近藤 満 (無機化学、錯体化学)
プログラム	8/21「水の分析」 8/22「ルミノールの合成と発光実験」
開催方法	対面開催
会 場	静岡大学静岡キャンパス 共通教育C棟 205室北 (理学部化学科専門実験室) ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。
受講料	無料
定 員	25人
対 象	中学生、高校生(保護者の同伴可能)、理科教育の関係者
申込方法	FAX・メールのいずれかによりお申し込みください(先着順)。 静岡大学グリーン科学技術研究所(理学部化学科) 近藤 満宛 <input type="text" value="FAX"/> 054-238-3045 <input type="text" value="メール"/> kondo.mitsuru@shizuoka.ac.jp ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、生年月日、受講希望日を明記してください(1日のみの参加でも可)。
申込期間	5月1日(土) ~ 7月25日(日)
問 合 せ	静岡大学グリーン科学技術研究所(理学部化学科) 近藤 満 <input type="text" value="☎"/> 054-238-4763 <input type="text" value="メール"/> kondo.mitsuru@shizuoka.ac.jp
後 援	静岡県教育委員会

静岡大学キャンパスミュージアム公開講座2021

A lecture open to the public in campus museum of
Shizuoka University

講座内容	静岡大学の静岡キャンパスは有度山西麓のユニークな環境に立地し、豊かな自然と歴史遺産がいたるところにあります。静岡大学キャンパスミュージアムでは、こうしたキャンパス資源を教育や地域との連携に生かすことを視野に、生物調査などを実施してきました。講座では、本学等の教員を講師として、キャンパスの自然と歴史遺産を現地で観察しながら調査研究成果を紹介したり、キャンパスミュージアム内でスライドや標本での観察を行います。
日 程	10月9日(土)・16日(土)・23日(土)・30日(土)、11月6日(土) [全5回] 10:00~12:00
講 師	理学部非常勤講師(ふじのくに地球環境史ミュージアム教授) 岸本年郎(昆虫分類学) 理学部准教授 徳岡 徹(環境応答学) 人文社会科学部教授 山岡拓也(考古学) 理学部准教授 石橋秀巳(地球科学) 技術部 宮澤俊義(生物学・放射線)
プログラム	10/9 「キャンパス内のアリ探索」(岸本) 10/16 「大学構内の植物探訪」(徳岡) 10/23 「石器の見方~石器の作り方と種類~」(山岡) 10/30 「静岡のマグマ学」(石橋) 11/6 「地上最強生物クマムシの観察と実験」(宮澤)
開催方法	対面開催 ※状況によりオンライン開催に変更する場合があります。
会 場	静岡大学静岡キャンパス キャンパスミュージアム ※会場までの地図は、P32の交通案内をご覧ください。
受講料	無料
定 員	20人
対 象	一般市民、学生、小中高生(中学生以下は保護者同伴)
申込先	メール・FAX・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 (メール) su-museum@adb.shizuoka.ac.jp (FAX) 054-238-4312 (葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学学術情報部研究協力課宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名及びプログラムを明記してください。 ※オンライン開催に変更する場合は、申込開始日までにWebサイトにてご案内します。 (https://wvp.shizuoka.ac.jp/campusmuseum/)
申込期間	9月1日(水) ~ 9月17日(金)
問 合 せ	静岡大学学術情報部研究協力課 ☎054-238-4316
後 援	静岡県教育委員会

安心登山のための読図と ナビゲーション (スマホ利用編)

Navigation with GPS maps app for mountaineering

講座内容	<p>スマホの地図アプリは便利なものが多く、山で使う登山者も多いと思います。その地図アプリを使ってナビゲーションする際に、適切なタイミングで適切な情報を読み取れると、スマホを見る回数や時間も最適化されてナビゲーションによるストレスが減り、またバッテリーの消費を抑えることができます。そのために必要な地図読みの基本知識や技術、効果的な現在地確認のタイミングなどを身につけます。iOSもしくはAndroidのアプリ「ジオグラフィカ」をインストールした、通信できるスマートフォンをお持ちください。机上講習の後、山道で実習をします。</p>
日 程	5月15日(土) 9:30~16:00
講 師	<p>プロアドベンチャーレーサー 宮内佐季子(野外活動) 教育学部教授 村越 真(野外活動)</p>
開催方法	対面開催
会 場	<p>静岡大学静岡キャンパス(教育学部) および屋外 ※詳細は受講者にお知らせします。</p>
受 講 料	2,400円
定 員	25人
対 象	スマホやタブレットの地図アプリを利用して登山を楽しみたいと考える市民
申込方法	<p>FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX) 054-237-6347 <input type="checkbox"/> メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、年齢、講座名、メールアドレス(あれば)を明記してください。</p>
申込期間	4月1日(木) ~ 4月20日(火)
問 合 せ	<p>静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422 <input type="checkbox"/> メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp</p>
共 催	特定非営利活動法人M-nop
後 援	静岡県教育委員会

安心登山のための読図と ナビゲーション (中級編)

Advanced course of navigation and map reading skill
for mountaineering

講座内容	1990年代後半以降、道迷い遭難が増えています。本講座では、地形図の基礎知識を持ち、7km程度を歩き通せる登山者を対象に、静岡市郊外の山道で実践的なナビゲーション技術を伝授します。目的地までは現地集合とし、各自負担(数百円程度)です。本講座は日本オリエンテーリング協会ナビゲーションスキル検定の学習内容をカバーしています。本講座修了者は翌日(20日)に静岡市郊外で開催される検定に参加・合格するとシルバーレベルに認定されます(検定料別途)。当該検定詳細は申込者に連絡しますが、 http://www.orienteering.or.jp/ni/ にも掲載されます。
日 程	2022年3月19日(土) 9:00~16:00
講 師	教育学部教授 村越 真(野外活動) オリエンテーリング元日本代表選手 小泉成行(野外活動)
開催方法	対面開催
会 場	静岡近郊の里山 ※詳細は受講者にお知らせします。
受 講 料	4,100円(交通費は別に自己負担)
定 員	20人
対 象	下記の条件をすべて満たした方を対象にしています。 ①過去に初級編を受講した方、又は地形図の基礎知識がある方、②登山経験者で7km程度を無理なく歩ける方、③YouTubeによる事前学習(予習)が可能な方
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="text" value="FAX"/> 054-237-6347 <input type="text" value="メール"/> kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="text" value="葉書"/> 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、メールアドレス、年齢、講座名を明記してください。
申込期間	2022年1月17日(月) ~ 2月28日(月)
問 合 せ	静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422 <input type="text" value="メール"/> kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp
共 催	特定非営利活動法人M-nop、(公社)日本オリエンテーリング協会
後 援	静岡県教育委員会

その他の 大学開放事業

静岡大学では、公開講座以外にも、それぞれの学部などで市民向けのさまざまな催しをおこなっています。ここではその一部を紹介します。

サイエンスカフェ in 静岡

■サイエンスカフェとは？

「サイエンスカフェin静岡」は、主に本学理学部の研究者を講師に迎え、最先端のサイエンスの話を聴きながらコーヒーを楽しむカフェとして、2006年12月にオープンしました。現在は、下記のサイトで講演の動画を公開しています。中高生から熟年の方々まで幅広い世代に、身近な興味ある話題から普段触れることのない最先端科学まで、多くの話題を取りあげることによって、科学に対する興味や新しい視点を提示することができれば幸いと思い取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症が収束しましたら、また以前のように皆様と直に交流させていただければと思います。

■問い合わせ

サイエンスカフェ 12代目店長 鈴木雅一（静岡大学理学部生物科学科）
 TEL：054-238-3080（理学部総務係）
 E-mail：sci-cafe@suml.cii.shizuoka.ac.jp

■サイエンスカフェin静岡の情報

ホームページ：http://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/
 静大テレビジョン：http://sutv.shizuoka.ac.jp/subchannel/41
 （過去の動画をご覧いただけます）

■主 催 静岡大学理学部

■サイエンスカフェin静岡 の活動

2020年度と2021年度はホームページ（https://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/）で動画公開となります。

	タイトル	講師	公開日
1	光るサカナのその後、透明キンギョとゲノム編集	徳元俊伸	2020年6月25日
	2007年の第10回目に「光るサカナの作り方」というタイトルで講演をさせていただいてから13年となりました。その後の研究の進展状況、特にこの技術はゲノム編集法として強力な研究ツールとなっていますので、その原理と実際について分かり易く紹介出来ればと思います。		

	タイトル	講師	公開日
2	過去5000年間の南海・駿河トラフ巨大地震による駿河湾の津波と海底地すべり	北村晃寿	2020年10月27日
<p>東北地方太平洋沖地震に伴う巨大津波による激甚災害を教訓に、国は南海・駿河トラフの海溝型地震の被害想定を、想定外の無い想定へ方針転換し、従来の対象としてきた東海地震、東南海地震、南海地震とそれらが連動するM8クラスの地震・津波をレベル1地震・津波とし、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波をレベル2地震・津波としました。さらに、国は、津波堆積物調査などを行い、巨大地震の全容解明が必要としました。この提言を受け、発表者は静岡県中・東部を調査し、先行研究と合わせて、同県の4000年間の地層・地質記録にレベル2津波の痕跡のないことを明らかにしました。また、駿河湾では1096年、1498年にレベル1の地震に伴って海底地すべりで海没が起きたと推定しました。この被害規模はレベル1と2の間の規模なので、レベル1.5津波といえます。したがって、駿河湾沿岸地域では、次の南海トラフ巨大地震・津波の対策として、レベル1.5津波一海底地すべりに伴う海没・津波一を加えることが望ましいと提言します。</p>			
3	化石記録から探る温暖化に対する沿岸生態系の応答	北村晃寿	公開予定
<p>温暖化に伴う各種・各個体群の分布変化が日本はもとより世界各地から報告されていますが、この生態学の情報に基づく将来予測はある程度の不確実性を伴います。なぜならば、各種・各個体群の分布の支配要因は、温度だけでない要因があり、しかも、それらが複合的に作用するからです。このような研究で化石記録は重要な役割を果たします。化石記録は実際に起きたことであり、生態学の研究の及ぶ時間スケールを超えた生態系の変動を記録しているからです。そのため、化石記録から、温暖化とそれに対する生物群集の地理的変動に関する研究は、世界中で活発に行われており、特に生物種や地形が現在と同じ第四紀(258万年前から現在)の研究が盛んです。本講演では、化石記録から過去の温暖化を解明する研究方法について解説し、事例研究として、発表者が研究してきた石川県金沢市の大桑層(おんま)の貝化石に基づく研究を紹介し、温暖化時の夏と冬の水温の上昇速度の相違が貝類群集の変遷に影響を与えることを示します。すでに、寒水系貝類のホタテ貝の養殖に温暖化の影響が出ており、脱炭素社会への移行が望まれます。</p>			

	タイトル	講師	公開日
4	化学の目で見る『豊かな海』	久保篤史	2021年2月3日
	沿岸海域は陸や大気からの物質流入により、外洋域に比べ非常にダイナミックに環境が変化する場所です。人間活動が沿岸海域の炭素・生元素(窒素・リン・ケイ素)循環に与える影響について紹介します。また、そこから見えてくる豊かな海とは何なのか考えてみましょう。		
5	地球内部で宝石がゆっくり流動する話	田阪美樹	2021年2月3日
	地球内部のマントルでかんらん石が流動するマントル対流について解説します。私は岩石の力学特性(どのくらい力を加えると、どのくらい変形するか)や岩石組織発達(どのような変形様式でどんな岩石組織ができるか)について研究をしています。これらの研究から地球地下深部のマントル流動を知る手がかりを得ることができます。		
6	小さい実数の集合	メヒア・ディエゴ (Diego Mejia)	公開予定
	いくつかの実数を集めたもの(実数の集合)に対する「小ささ」を測る尺度はいくつもあります。例えば「確率がゼロ(測度零)である」ことは、実数の集合の小ささを表す概念のひとつです。その他、疎・第一類など、多くの「小ささ」を測る尺度の話題を通じて、「連続体上の組合せ論」と呼ばれる実数の集合に関する最先端の研究を紹介します。		

浜松 RAIN 房

ものづくり理科地域支援ネットワーク

■浜松RAIN房とは？

地域ぐるみで「ものづくり・理科教育」を支援していくネットワークです。静岡大学工学部を中心に、市、浜松商工会議所、地元企業、市民グループなどとの連携を広げ、このネットワークで地域のイベントや講座などへの支援を行っていきます。

■浜松RAIN房のネットワーク

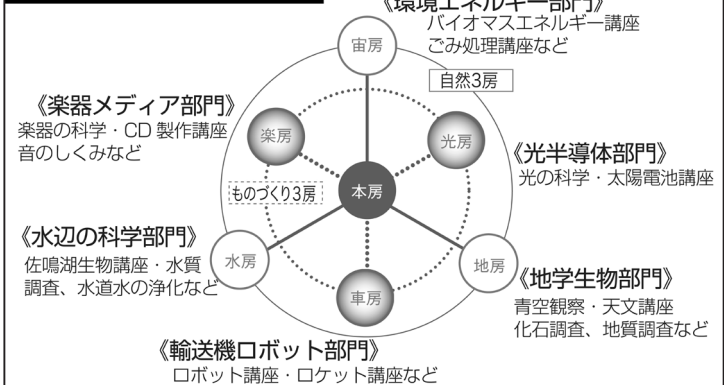
ものづくり3房（車房・楽房・光房）、自然3房（水房・地房・宙房）と本房の7つの房で構成されます（下図参照）。名称は、虹色の7色にかけて『レインボウ』としています（房＝クラスター：ネットワークのグループ）。RAIN房の『RAIN』は、RAIN=RApport between Industry & Nature（産業と自然との協調関係）をあらわしています。

■どんなことをするの？

浜松RAIN房では、ネットワークに連携する団体の情報を集約・発信するとともに、各地域でのイベント（ものづくり講座や理科実験）に教材の提供や講師の派遣などを行い、理科教育を身近に感じていただく活動を展開していきます。浜松RAIN房のホームページには、この地域で行われるものづくり・理科教室等の情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

浜松RAIN房ホームページ <https://train1.eng.shizuoka.ac.jp>

浜松 RAIN 房ネットワーク図



■お問い合わせ

浜松RAIN房

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学工学部内

☎053-478-1759 / FAX053-478-1759

E-mail : trainbow@shizuoka.ac.jp

<https://train1.eng.shizuoka.ac.jp/>

しずおか哲学café

「しずおか哲学café」は、誰かが抱いている疑問を、みんなで立ち止まって考える場です。哲学の専門的な知識は必要ありません。一人ひとりの価値観や生き方を尊重しながら、対話を通じて問いを共有し、ともに考えましょう。

■開催方法 オンライン開催 (Zoomミーティング)
※感染状況により、対面での実施となる可能性もあります。

■開催日時 2021年偶数月第1土曜日 (予定)
15:00~18:00 (入室: 14:50~)
※開催日時については決定次第、下記ウェブサイトにてお知らせします。
<https://wwp.shizuoka.ac.jp/shizuoka-philocafe/>

■参加費 無料

■申込方法 「こくちーず」からお申し込みください。
※HPもしくはFacebook (<https://m.facebook.com/shizuoka.philocafe/>) から申込画面にアクセスできます。

■問い合わせ 堂園俊彦 (静岡大学人文社会科学部)
E-mail: dozono.toshihiko@shizuoka.ac.jp
※これまでのテーマなど詳細は、Facebookをご覧ください。

死生学カフェ

死生学カフェは、生きること、死にゆくこと、かけがえのないものを失うことなど、生と死にかかわる多様な課題について出会いと探究の姿勢を大切にしながら、対話を試みる場です。先駆的な試みとして全国的に注目されています。

■開催方法 オンライン開催 (Zoomミーティング)

■開催日時 2021年奇数月第3土曜日
15:00~18:00 (入室: 14:30~14:50)

■参加費 無料 ■定員 36人 (先着順)

■申込方法 「こくちーず」からお申し込みください。
※Facebook (<https://m.facebook.com/shiseigakucafeshizuoka/>) から申込画面にアクセスできます。

■問い合わせ E-mail: shiseigakucafe@gmail.com
※これまでのテーマなど詳細は、Facebookをご覧ください。

静岡大学・読売新聞連続市民講座

■開催時期 6月5日、7月10日、8月28日、9月25日、10月16日
(いずれも土曜日14:00～16:00)

※テーマについては決定次第、下記のウェブサイトにてお知らせします。
<https://www.lc.shizuoka.ac.jp/index.html>

■会場 あざれあ（静岡県男女共同参画センター）

■受講料 無料

■対象 一般市民

■問い合わせ 静岡大学地域創造教育センター
地域人材育成・プロジェクト部門
☎054-238-4817 [平日9:30～16:00]
E-mail : kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

静岡大学・中日新聞連携講座

■開催時期 2021年10月～2022年1月(予定)

※開催日時、テーマについては決定次第、下記のウェブサイトにてお知らせします。
<https://www.lc.shizuoka.ac.jp/index.html>

■会場 静岡大学浜松キャンパス

■受講料 無料

■対象 一般市民

■問い合わせ 静岡大学地域創造教育センター
地域人材育成・プロジェクト部門
☎054-238-4817 [平日9:30～16:00]
E-mail : kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

市民開放授業

■市民開放授業とは

静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。生涯学習の要請に応えるとともに、本学と地域社会の連携をより一層深めていくことを目的としています。

■市民開放授業の特徴

- 高等教育レベルの高度で体系的、先進的な内容を受講することができます。
- 大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としています。ただし、高等学校などの卒業証明書の提出は必要ありません。
- 大学の正規の授業科目を受講していただきますが、単位の認定は行いません。したがって、単位認定試験は行いません。また、修了証明書等の発行も行いません。

■市民開放授業のメリット

- 静岡大学の正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流をもちながら、学ぶことができます。
- 構内の生協（食堂・書店など）や附属図書館を利用することができます。また、一時保育施設を利用することもできます（有料、静岡キャンパスのみ）。

■受講の方法

2021年度の前学期につきましては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となりました。

後学期市民開放授業の実施については、今後の状況の変化に応じて慎重に検討し、実施する場合は9月下旬頃に静岡と浜松で事前説明会を行う予定です。詳しくはお問い合わせください。

■お問い合わせ・資料請求

静岡大学地域創造教育センター 市民開放授業係

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

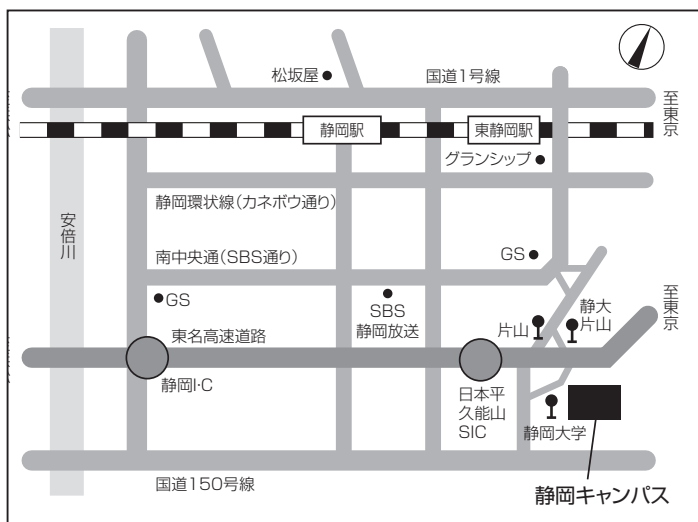
TEL：054-238-4817 FAX：054-238-4295

E-mail：kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

主要会場への アクセス

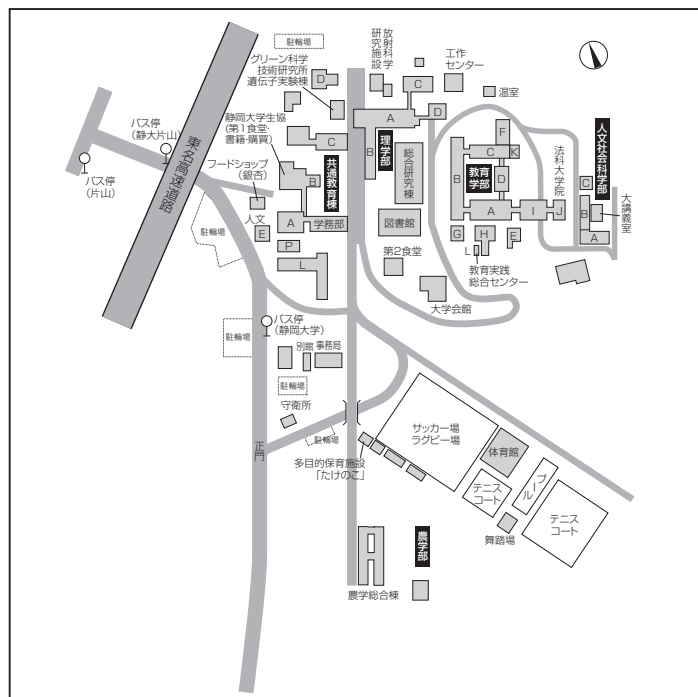
■静岡大学静岡キャンパス

所在地：静岡市駿河区大谷836



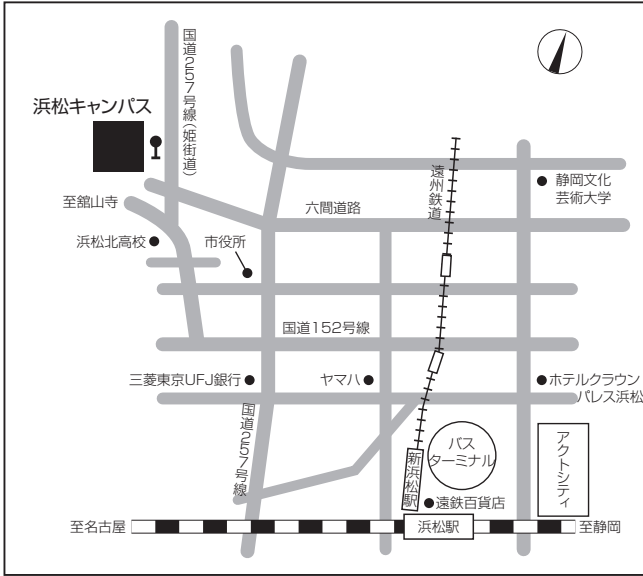
交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス8番乗り場から、「静岡大学」または「東大谷」行きに乗車し、「静岡大学」または「静大 片山」バス停下車（所要時間約25分、1時間に5～7本運行）。※静岡駅午後発の「東大谷」行きバスは「静岡大学」バス停を經由しないため、「片山」バス停で降りてください。「片山」と「静大 片山」バス停は位置が異なりますのでご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。



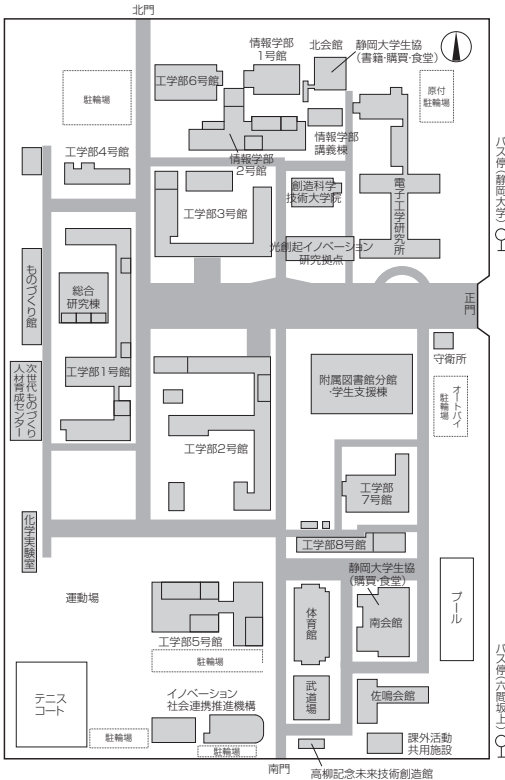
■静岡大学浜松キャンパス

所在地：浜松市中区城北3-5-1

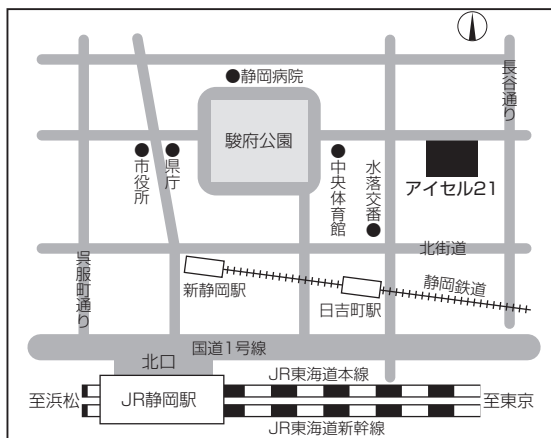


交通案内

1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス停車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。



■静岡市葵生涯学習センター（アイセル21）

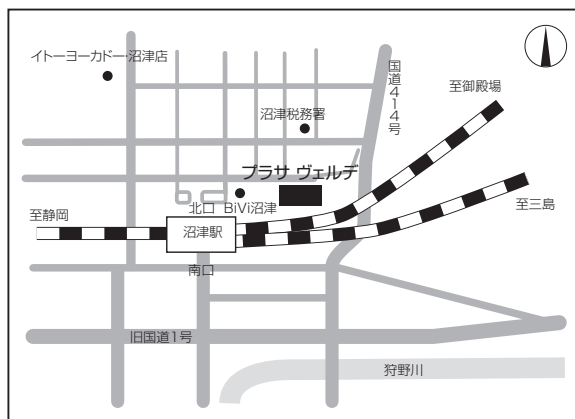


所在地：
静岡市葵区東草深町
3-18

交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「県立総合病院行き」（県立病院高松線）に乗車し、「アイセル21」バス下車。
2. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「駿府浪漫バス」に乗車し、「アイセル21」バス下車。
3. JR静岡駅北口より徒歩30分。
4. 静鉄新静岡駅より徒歩20分。
5. 静鉄日吉町駅より徒歩15分。

■プラサ ヴェルデ（ふじのくに千本松フォーラム）



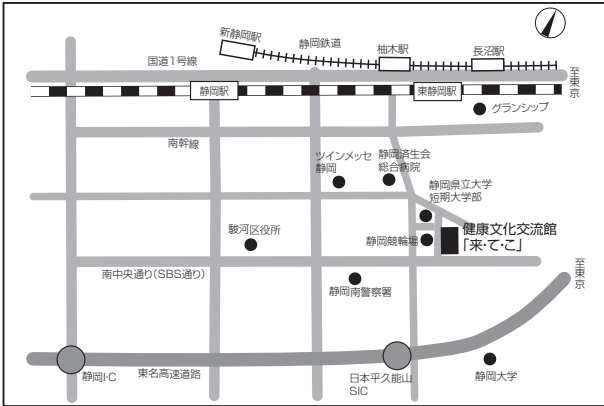
所在地：
沼津市追手町
1-1-4

交通案内

JR沼津駅北口より徒歩3分

■健康文化交流館「来・て・こ」

所在地：静岡市駿河区小鹿2-25-45



交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス8番乗り場から、「静岡大学」「東大谷」「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き（美和大谷線）に乗車し、「競輪場入口」バス停下車。
2. JR静岡駅南口しずてつジャストラインバス21番乗り場から、みなみ線（内回り、外回り）に乗車し、「小鹿営業所」バス停下車。



発行

静岡大学地域創造教育センター
地域人材育成・プロジェクト部門

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

☎054-238-4817 FAX054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

URL: <https://www.lc.shizuoka.ac.jp/>

パンフレットに掲載されている情報は2021年2月現在のものです。

都合により内容が変更される場合がありますので、事前に各講座の問い合わせ先へご確認ください。